

山形市版PPP/PFI手法による施設等整備について ～地元企業の参加を促進～ (山形県山形市)

取組概要

- ・山形市内の4施設(山形市立商業高等学校、山形市立南沼原小学校、南部児童遊戯施設、道の駅「(仮称)蔵王」)を、PPP/PFI手法を用いて整備する検討を進めた。
- ・PPP/PFI事業を実施するに当たり不可欠である地元企業からの理解を得るため、丁寧なヒアリングを実施。結果としてPPP/PFI事業のメリットと、地域経済への貢献を両立させることができた。

取組の効果

4事業とも、地元企業が代表企業となるSPCと契約することとなり、地域経済に寄与しPPP/PFIを推進することができた。

創意・工夫した点

施設ごとに地元事業者の要望や意見を丁寧にヒアリングし、実施方針や落札者決定基準の設定にあたっては、ヒアリング内容と施設の特性をふまえ、都度改善を図った。

他団体へのアドバイス

地元事業者の声を丁寧にヒアリングしながら進めることで成果を出すことができた。ノウハウを将来に渡って継承していくことが課題であり、そのための仕組みを整備する必要がある。

人口 245,808 人(R4.1.1現在)

担当 企画調整課

<各SPCにおける地元企業の構成率>

施設名称	入札参加グループ数	入札参加グループ代表企業の本社所在地	構成員における地元企業の割合
山形市立商業高等学校	1	山形市のみ	100%
山形市立南沼原小学校	2	山形市のみ	100%
南部児童遊戯施設	3	山形市のみ	70%
道の駅「(仮称)蔵王」	1	山形市のみ	100%

地元企業の参入状況



©copal

南部児童遊戯施設 (完成内観)